

第6章 伊勢志摩サミットの成功に向けて

伊勢志摩サミットをめぐる諸情勢

1 はじめに

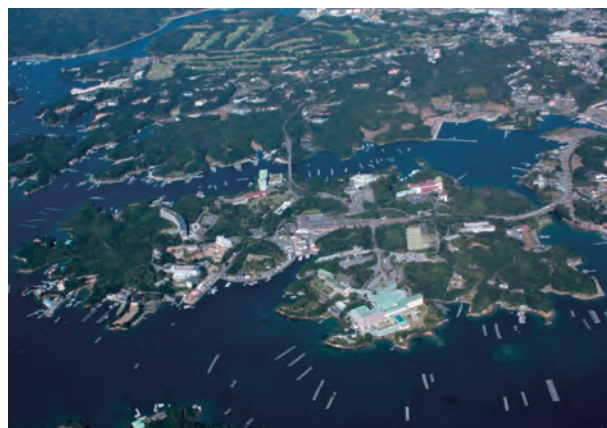
伊勢志摩サミットは、平成28年5月26、27日の両日、三重県志摩市賢島において開催されます。また、4月10、11日に広島県広島市で開催される外務大臣会合、5月20、21日に宮城県仙台市で開催される財務大臣・中央銀行総裁会議等、**過去最多の10の関係閣僚会合が全国各地で開催**されます。

ISILは、米国を中心とする有志連合をテロの標的とみなしており、その中には、我が国を始めとする主要7か国が含まれています。また、27年11月のフランス・パリにおける同時多発テロ事件では、スタジアムやレストラン等不特定多数の者が集まる、いわゆるソフトターゲットがテロの標的となりました。

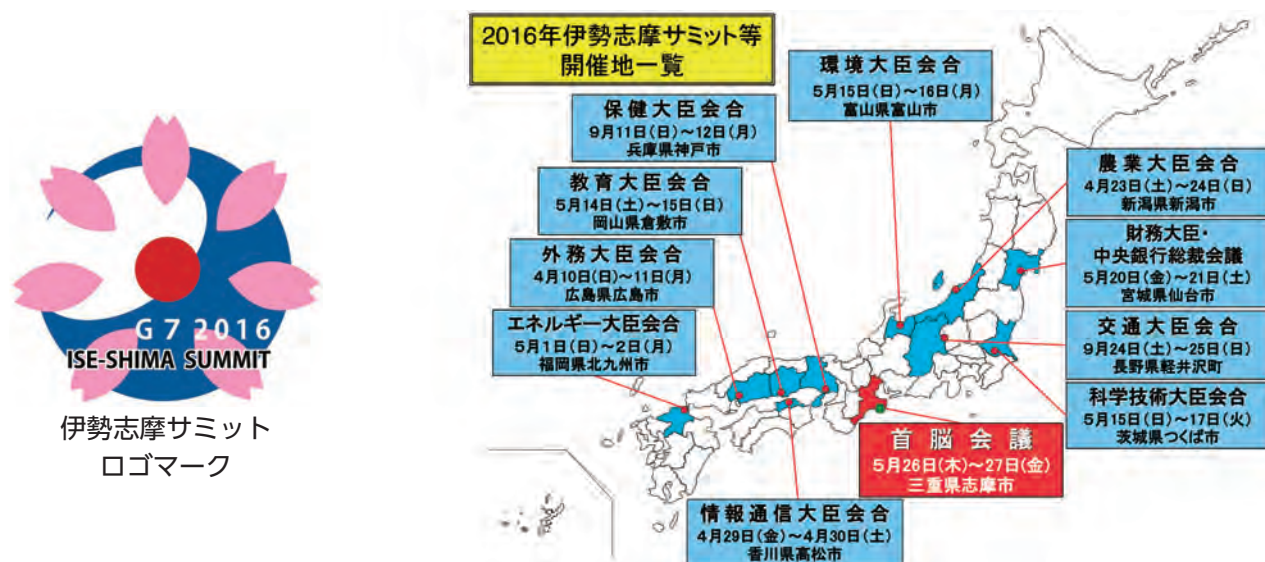
さらに、サイバー攻撃が世界的に頻発していることに加え、過去のサミットでは、17年の英国グレンイーグルズ・サミット開催期間中に、開催地から離れた首都ロンドンで同時多発テロ事件が発生したほか、反グローバリズムを掲げる過激な勢力等による抗議行動が行われています。また、我が国で開催されたサミットにおいては、極左暴力集団による「テロ、ゲリラ」事件等が発生しています。

これらの情勢を踏まえると、伊勢志摩サミットや関係閣僚会合の開催地だけではなく、東京や大阪を始め全国各地において、重要施設や公共交通機関等に対するテロ等を未然防止するための対策が必要となります。

警察は、伊勢志摩サミット等の成功に向け、総力を挙げて警備の万全を期すこととしています。



伊勢志摩サミット会場となる三重県志摩市賢島



2 伊勢志摩サミットをめぐる諸情勢

■ 国際テロ情勢

ISILやAQは、我が国を始めとするサミット参加各国をテロの標的とみなしており、現実には我が国の権益や邦人がテロの標的となる事案が発生しています。海外において、過去には、サミット等の大規模イベントの開催期間中や期間前にテロが発生している上、27年11月には、フランス・パリでISILによる犯行とされる銃器や爆発物を用いた無差別・同時多発テロ事件が発生し、130人が死亡するなど、**国際テロ**



フランス・パリにおける同時多発テロ事件の犯行現場で黙とうする人々
(AFP＝時事)

情勢は一層厳しい状況にあり、我が国に対するテロの脅威は現実のものとなっています。

■ サイバー攻撃情勢

サミット等の国際的な大規模イベントにおいては、イベントそのものの妨害やプロパガンダの流布等を企図したサイバー攻撃のほか、テロの準備行為として、重要インフラ事業者等のシステムに侵入し警備体制等に関する情報を窃取するサイバー攻撃による被害の防止に万全を期す必要があります。

■ 反グローバリズムを掲げる過激な勢力等及び極左暴力集団・右翼情勢

反グローバリズムを掲げる過激な勢力等は、近年のサミット開催時に大規模なデモに取り組み、その過程で一部の活動家は、国内で違法な形態によるデモを、海外で店舗の破壊や道路封鎖、投石等を、それぞれ行うなどしました。我が国でのサミット開催時に、極左暴力集団は、「サミット粉碎」を主張し、飛翔弾の発射や過激な抗議行動に取り組みました。右翼は、領土問題等を捉えて街頭宣伝活動に取り組み、また、会議場周辺や要人の宿泊先等において、要人への接近を企図して執ように徘徊しました。

伊勢志摩サミットをめぐる、反グローバリズムを掲げる過激な勢力及び極左暴力集団等は、開催地のみならず、大都市圏で集会やデモ等を行うことが、右翼は、批判対象への抗議行動を活発化させることがそれぞれ予想され、その過程で、違法行為を引き起こすおそれがあります。



デモ規制を行う警察部隊
(20年7月、札幌市)



北海道洞爺湖サミットに際し
街頭宣伝活動を行う右翼団体
(20年7月、北海道)



北海道洞爺湖サミットに反対して
取り組まれたデモ
(20年6月、東京)